

美しい音色を支えているのは、
たゆまぬ向上心と自己管理能力。



©ants Yuji Nishijima

■プロフィール

1977年12月、愛知県安城市生まれ。6歳より才能教育研究会にてヴァイオリンをはじめ。1989年、第43回全日本学生音楽コンクール入賞。2001年、東京音楽大学卒業後、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。2005年より1年間、オーストリア・ザルツブルクに留学。現在はオーケストラのほか、レコーディングなどの活動や後進の指導にも力を注いでいる。これまでに近藤富士雄、近藤フミ子、山岡耕作、水戸泰雄、イゴール・オジムの各氏に師事。



ヴァイオリン奏者
たむら
田村 直貴さん
なおたか

第245回
荒川の人

クラシックに興味はあってもオーケストラの生演奏を聴いたことがない、そんな方のコンサートデビューにもぴったりと好評を博したのが、9月にサンパール荒川で開かれた「フレッシュ名曲コンサート オータムコンサート」です。コンサート当日、指揮者の海老原光さんから、同じ荒川区在住の音楽家として紹介されたのが、今回お話を伺った新日本フィルハーモニー交響楽団(以下、新日本フィル)でヴァイオリンを演奏されている田村直貴さんです。

子どもの頃は練習嫌い
縁あってプロの道へ

「父がピアノ調律師で、母がピアノ教室を開いていて、子どもにも何か楽器を習わせたいと、6歳からヴァイオリンを習いはじめました。家にはピアノがあったけれど、なぜかヴァイオリンだったんですね。もともと親に言われてはじめてだったので、練習が嫌で嫌で。当時はファミコンが出た当初で、練習1時間したらファミコンで10分遊んで良かったので仕方なく練習。子ども用ヴァイオリンは指板(しばん)弦を指で押さえてつける黒い板)が塗装なので、弾くと指先が黒くなるんですが、鉛筆でわざと汚して練習したふりをしたりしてました(笑)」

田村さんは3人兄弟の長男。下の弟さんも現在は音楽関係の仕事に、末っ子の田村響さんは、2007年ロン・ティボー国際コンクールピアノ部門で優勝した気鋭のピアニストとして活躍されています。

「高校では理系に進み、いったんは趣味にしたヴァイオリンでしたが、悩んだ末に音大へ進学することに決め、一浪して東京音楽大学に入りました。大学3年の頃から、エキストラとしていくつかのオーケストラに参加するようになり、そのひとつである、新日本フィルに入団することができました」

エキストラ奏者は言わば助っ人

アルバイトですが、演奏する時には楽団の一人として責任を担う大変な仕事です。もしかしたら他の道へ進んでいたかも。入団はラッキーだったと言う田村さんですが、腕前がなければ運も引き寄せられなかったのは言うまでもありません。

失敗しないために
技術と集中力を高める

田村さんが所属する新日本フィルは、世界的な指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして1972年に創立。すみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、定期演奏会のほか、さまざまな演奏活動を行っています。私たちになじみ深い、音楽家・久石譲によるスタジオ・ジブリの映画音楽「千と千尋の神隠し」、「ハウルの動く城」、「崖の上のポニョ」の管弦楽を担当しています。

「ハウルとポニョでは私もヴァイオリンを弾いています。映画音楽やCM等は、演奏している時点では作品内でどんなふうに使われるかはまだわかりません。演奏に集中するだけです。スタジオ録音は1人が失敗するとそれだけ時間も超過し、皆に迷惑がかかる。公演とはまた違った神経を使います」

音大生の頃は定期公演に向け、長期間の準備期間がありました。オーケストラの団員はそんな悠長なことは言っていないかもしれません。定期演奏会、自主演奏会などで1カ月平均10本もの公演があり、その他の仕事も入ります。譜面を渡されて、1〜3日でもリハーサルをして本番を迎えるのが常だといいます。スケジュール表で今後どんな曲をやるかチェックしたら、効率良く練習して準備。疲れた姿などはお客さまには見せられない。本番には決して穴は開けない。一つひとつの公演、演奏に向けてきっちり自己管理できてこそプロだと言います。

汐入公園で日射しを浴び
のんびりとリフレッシュ

私たちが想像するよりはるかに忙しく神経を使う日々。息抜きなどはどうされているのでしょうか。 「新日本フィルのある錦糸町に通いやすい町として選んだ荒川ですが、住みやすいので、今年2月に結婚して新居も区内。通算もう10年も住んでいます。中でもお気に入りの場所は隅田川沿いの汐入公園です。気候が良いとき、自転車で行って、芝生にのんびり寝転がるのが大好きです。そこで編曲したり、読みたかった本を持って行って読んだり、仕事のこと、やってみたいことなどのプランを練ったり。温泉や海外旅行も好きですが、身近ではよく汐入公園にリフレッシュに行っています」

区内の音楽家の方々ははじめ、荒川区観光大使である三遊亭好楽さんの子息・三遊亭玉楽さんと真打ち昇進披露パーティーで演奏したのがきっかけで区内で飲んでいるそうです。農業に興味があったり、起業家の仲間と語らったりと、広いネットワークを持つ田村さん。

ヴァイオリンをはじめとする弦楽器は、アニメやポップス、演歌の伴奏などでも良く使われています。どんな曲でも、CDやスマホなどで聞くと、実際の演奏を聞くのとでは全く異なる体験です。ぜひ、実際の演奏会で本物の音を聞き、自分なりの楽しみを見つけてほしい。そして、また、地元荒川のホールで演奏するのを楽しみにしていますと語ってくれました。

INFORMATION
新日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会
ルビー〈アフタヌーンコンサート・シリーズ〉
11月25日(金)・26日(土) 午後2時開演
すみだトリフォニーホール
指 揮 ダレル・アンソニー(指揮者)コナール(指揮)
オルガン 室住素子
ヘンデル…王宮の花火の音楽、オルガン協奏曲、変ロ長調
エルガー…エニグマ交響曲
■お電話で「ほっとタウン割引」とお伝えいただけます。
一般料金S席4,500円、A席2,000円のところ、
S席3,000円、A席1,500円で購入可。
新日本フィル・チケットボックスのみでのお取扱いは
03-5610-13815
(平日・10:18時、土・10:15時、日祝休)

ACC 友の会入会のご案内

会員になると
お得な特典が
いっぱい!

特典

- 公演チケットが割引で購入できます (ACCの全ての公演チケットが原則1割引)
- 人気の公演チケットを一般販売に先立って購入できます (ご希望の席を早めにゲット!)
- 会員だけのお得情報が届きます (先行販売やチケットプレゼント等の情報満載の「友の会通信」)

会費

口座会員1,300円/年
※年間で2枚以上のチケット購入で、年会費以上の割引になることも!
現金会員1,500円/年

**口座会員だけの
便利な特典**

- 電話で予約したチケットを自宅へ郵送! しかも送料無料 (口座引き落としの手続き完了後からとなります) ※窓口でチケットを買いに行く手間が省けます。忙しい方におすすめ!
- 毎年の窓口での更新手続きが不要! ※窓口に行く必要がなく、更新のし忘れもありません!

●入会条件: どなたでもご入会いただけます。●会費: 年会費(口座会員1,300円/現金会員1,500円) ●会期: 入会した日から、翌年同月の末日まで ●会員種別①現金会員: 年会費やチケット代金を現金でお支払い②口座振替会員: 年会費、チケット代金をご指定の口座より引き落とし(振替手数料は無料) ●入会方法: 入会申込書に必要事項をご記入のうえ、年会費を添えてお申込みください。(受付窓口)町屋文化センター

とらふぐてっちり祭り開催!!
期間: 11月1日~11月23日まで

とらふぐフルコース 福 とらふ、てっさ、てっすり、 雑炊、香の物、デザート 通常価格 7,000円(税込7,560円) 祭り価格 5,600円(税込6,048円)	てっちり とらふ、てっすり、雑炊、香の物、デザート 通常価格 5,300円(税込5,724円) 祭り価格 4,300円(税込4,644円)	ふぐ・トロ握り 通常価格 2,200円(税込2,376円) 祭り価格 2,000円(税込2,100円)
寿 とらふ、前菜、てっさ、ふぐ唐揚げ、 てっすり、雑炊、香の物、デザート 通常価格 8,500円(税込9,180円) 祭り価格 6,800円(税込7,344円)	焼きふぐ 通常価格 1,800円(税込1,944円) 祭り価格 1,600円(税込1,728円)	ひれ酒 通常価格 800円(税込864円) 祭り価格 700円(税込756円)

忘年会ご予約承り中!
※無料送迎バスをご用意いたします。※ご予算ご相談ください。

木曾路南千住店
荒川区南千住 5-6-15
電話: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 2,160円以上の料理をご注文に限りです。
- グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- H28年12月31日まで有効
- 木曾路南千住店のみ有効